

科目名	人文地理学 I Human Geography I						
科目担当者	朝日 克彦 ASAHI Katsuhiko						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 自由科目] 経営学部・経営学科 [専門教育科目 自由科目]					ディプロマポリシーとの関連	(4)(6)
授業の概要	教職課程，地歴科及び社会科の教科科目である「地理学」について，教職科目の「地理学」の概要を俯瞰し，そのうち「人文地理学」の様々な主題を体系的に解説する。 また地域を把握するごく基本的な地理学手法を講義内で実習し，資料の扱い方や表現方法を身につけ，社会科，地歴科教員として最低限必要な地理学・人文地理学の基礎と地理的技法を身につけることを目的とする。						
授業の到達目標	教職課程，地歴科及び社会科の教科科目である「地理学」「人文地理学」について，体系的に順を追って解説し， ①地域の成り立ちを理解し，現状を正確に把握できる。 ②地図の読図や地図での表現など，地理で求められる基本的な技能を扱える。 ③地域の現状を正確に把握したうえで，問題解決の道筋を描ける。						
授業計画・内容・授業外学修	1	イントロ 講義の進め方， 受講方法					
	2	地理学の到達目標					
	3	地理学からみる世界					
	4	地球儀と地図・身の回りの地図					
	5	農業の生産					
	6	工業の生産					
	7	流通の地理					
	8	交通の地理					
	9	生活行動の地理					
	10	生活文化・民俗の地理					
	11	地形図の読図：等高線を読む					
	12	地形図の読図：土地利用の変化を読む					
	13	地形図の読図：土地利用と土地の特性を読む					
	14	空中写真の判読：土地の形状と土地利用					
	15	空中写真の判読：土地の特性と履歴					
授業外学修 (事前学修)	指定教科書のうち，次回講義内容の当該箇所を読んで，そこに出てくる重要な用語（ターム）の意味を事前に調べ，講義に臨む。（毎週1時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義中に実施する地形図の読図，空中写真の判読について，与えられた課題を踏まえたうえで，そこから分かることを実習成果レポートにして提出する。（45時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	予習チェック				30%	①	
実習成果レポート				40%	①，②，③		
定期試験（講義の理解度）				30%	①，②，③		
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	高等学校検定教科書『高等学校 新地理総合』、『新詳 地理探究』ともに帝国書院。						
参考文献	上野和彦・椿真智子・中村康子編（2015）：『地理学基礎シリーズ 3 地理学概論 第二版』，朝倉書店，ISBN 4254168195						
その他	地形図読図，空中写真判読の実習も行う。指定した回には色鉛筆や定規を持参。実習課題成果をもとに実習レポートを課す。						